

(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

第7回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録 (案)

1. 日 時 : 平成 20 年 3 月 27 日 (木) 13:30~16:30

2. 場 所 : 徳島大学工学部建設棟 3 F A303

3. 出席者 : 上田委員長, 石井, 一宮, 唐渡, 上路, 河野, 山地, 原田, 横井, 横手, 吉川, 渡邊の各委員, 武知 (オブザーバー), 高橋 (オブザーバー)

(敬称略, 順不同)

以上 14名

4. 配布資料 :

- 7-0 JCI 四国支部第7回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事次第
- 7-1 JCI 四国支部第6回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録 (案)
- 7-2 JCI 四国支部第6回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録 (案) HP用
- 7-3 講習会会告案
- 7-4 報告書表紙・序文・委員構成・目次 (案)
- 7-5 報告書第1章原稿案 (WG1)
- 7-6 報告書第2章原稿案 (WG2)
- 7-7 報告書 2.3 施工性能の向上に関する検討
- 7-8 報告書 3.2 フライアッシュをセメント置換したコンクリートの耐久性に関する実験的検討
- 7-9 報告書 3.4 塩害による鉄筋腐食に関する検討, 3.5 ASR 抑制メカニズムの検討
- 7-10 報告書第4章原稿案
- 7-11 文献カード

5. 議 事 :

(1) 委員長挨拶

上田委員長より第7回研究委員会開催にあたっての挨拶があった。

(2) 前回議事録 (案) の確認

資料 7-1 の第6回研究委員会議事録 (案) が上田委員長より説明され, 異議なく承認された。

(3) 成果報告書について

資料 7-4 により成果報告書の表紙, 序文, 委員構成, および目次ページ案が上田委員長から説明された。

(4) 報告書原稿案について

各執筆担当者から報告書原稿案の説明があり, 議論の結果, 以下の点が確認された。

- ・ 第1章に関して, アンケート票の代表例は資料編に入れる。また, 一部フォーマットや字句, 表現の修正を行う。
- ・ 第2章に関して, 文献カードは横井委員に追記をお願いする。一部フォーマットや表現の修正を行うと共に, フライアッシュ硬化過程の SEM 観察結果も入れることを検討する。
- ・ 第3章に関して, 一部, フォーマットや表現を修正するとともに, 中性化進行予測について追加の考察を行うこととする。
- ・ 第4章に関して, 本委員会成果との関連を明確にするとともに, フライアッシュ利用促進に結びつくように具体的な例を挙げるなど, 表現を修正する。

(5) 今後の予定

上田委員長から今後の方針として以下が確認された。

- ・ 今回の議論を踏まえて各担当で報告書の修正・執筆を進め, 4/4 (金) までに上田委員長まで原稿の Word ファイルを送る。この際, ページ数は削除したファイルとする。
- ・ 4/17 (木) の拡大幹事会に製本した報告書を提出するため, 原稿の締め切りを厳守してほしい。なお, 報告書は5/22 (木) の JCI 四国支部総会で配布される。
- ・ 報告書のページ数は100ページ以内とするため, 資料編のデータベースおよびアンケート票は代表例のみを冊子にいれ, 残りのデータはホームページからダウンロードできるようにしたい。
- ・ 本委員会の講習会を資料 7-3 のように開催したい。開催の予定日は7/24 (木) とする。

報告者 : 上田

以 上